※令和４年度以降入学生用

学校番号	107

令和８年度　音楽科

教科	音楽	科目	演奏研究（管弦打）	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	高校生の音楽２（教育芸術社）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この授業では、管弦打楽器専攻の生徒が集まって授業を行います。
・教科書と筆記用具、プリントを綴じるためのファイル、を必ず持参してください。必要に応じ、五線紙を持参してもらうこともあります。
・この授業では、専攻実技や音楽理論、音楽史などで学んだことを基礎として、将来にプロの音楽家として必要とされる総合的な力を身につけます。
　総合的な力とは（２年次）
　①　楽曲を分析し、調べたことを言葉によりまとめる力
　　＝プログラムノートや楽曲についての分析レポートを自分で作成できる力
　②　演奏会を企画・実演する力＝舞台マナーの向上、演奏会の成り立ちを学ぶ、自主演奏会の企画・運営・実践、演奏発表の振り返りと分析を行う力
　③　楽器の特徴を踏まえた演奏解釈、アンサンブル能力を身につける

2　学習の到達目標

音楽作品の演奏や鑑賞の学習を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、専門的な音楽に関する資質・能力を次の通り育成することをめざす。
【知識及び技能】演奏における客観性と多様性について理解を深めるとともに、理解したことを生かした演奏をするために必要な技能を身に付けるようにする。
【思考力・判断力・表現力等】音楽の様式をふまえた演奏に関する思考力、判断力、表現力等を育成する。
【学びに向かう力、人間性等】音楽作品を尊重して演奏したり鑑賞したりする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・演奏や鑑賞の学習を通して、楽譜に基づいて演奏者がどのような解釈をしたか、時代や様式及び演奏形態などに即した表現方法や解釈があることについて理解をしている。【知識】 ・自らの演奏を振り返りながら、また楽曲がうまれた時代や地域、楽器等によって特徴が異なる音楽の様式を演奏者によってどのように表現しているかなど、客観性と多様性を踏まえ、自らも器楽で表している。【技能】	・時代や地域、楽器等による表現上の特徴や個々の作曲家の表現上の特徴などを踏まえ、どのように演奏するかについて表現意図を持っている。また専門実技で培った知識・技能を生かし、自分や他者の演奏が音楽の様式を踏まえた演奏となっているかどうかについて思考、判断し、表現する一連の過程を位置づけながら、どのように演奏するかについて表現意図を持っている。	時代や地域、楽器、作曲家等の表現上の特徴を踏まえて作品を解釈したり、様式等に即した演奏を追求することに関心をもち、音楽作品を尊重して演奏したり鑑賞したりする態度で主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	現代音楽に触れ、音楽や自分の楽器のもつ可能性を追求する。	①新しいリズム 普段触れる機会の少ない連符が多い楽曲や変拍子、あるいは拍子のない音楽に取り組み、リズム感覚や楽器奏法の柔軟性を身に着ける。 ②特殊奏法 様々な楽器の特殊奏法やそれが使われた音楽について学ぶ。自分の専攻楽器についてはレポートにまとめ、実践にも取り組むことで奏法の柔軟性を身に着ける。 ③試験曲のレポート発表 実技試験で演奏する楽曲について、楽曲の時代背景や特徴、歴史的な演奏なども踏まえて、自分がどのように演奏したら良いか考察し、レポートにまとめて発表する。	a:授業で取り組む様々な音楽やそれぞれの専攻楽器について興味を持ち、その特性を理解している。【知識】 音楽表現に必要な技術、奏法、またステージマナーなどの姿勢も身につけている。【技能】 b: 常に表現を工夫し、表現意図を持って演奏することができている。 c: 演奏者による表現の特徴などに関心を持ち、鑑賞に主体的に取り組もうとしている	レポート	レポート 演奏聴取 発表	観察 発表 振り返りシート
後期	アンサンブルを学ぶ	④グループ・アンサンブル 任意のグループで選曲し自分たちで編曲、練習し発表。 ⑤全体アンサンブル 全員でのアンサンブル活動を通じて各パートの役割を考えるとともに、ハーモニー感覚を磨く ⑥ミニ・コンサート 自分たちで企画・運営してコンサートを開く 演奏会を実施するために必要な準備や手続きについて考察する。演奏会後は自分たちの取り組みについて振り返る	a:お互いの専攻する楽器についてその特性を理解し、アンサンブルに向けての編曲に取り組もうとしている。【知識】 音楽表現に必要な技術、奏法、またステージマナーなどの姿勢も身につけている。【技能】 b: 常に表現を工夫し、表現意図を持って演奏することができている。 c: アンサンブルやコンサートについて興味を持ち主体的に取り組もうとしている 演奏者による表現の特徴などに関心を持ち、鑑賞に主体的に取り組もうとしている	観察 演奏聴取	演奏聴取 発表	発表 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度